

新廃棄物処理施設整備事業

審 査 講 評

令和 8 年 2 月

掛川市・菊川市衛生施設組合
新廃棄物処理施設整備事業事業者選定委員会

掛川市・菊川市衛生施設組合新廃棄物処理施設整備事業事業者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）は、新廃棄物処理施設整備事業（以下、「本事業」という。）に関して、落札者決定基準（令和7年5月12日公表）に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評をここに報告します。

掛川市・菊川市衛生施設組合
新廃棄物処理施設整備事業事業者選定委員会
委員長 藤吉 秀昭

目 次

第1章 選定委員会の構成及び開催経過.....	1
1 選定委員会の構成.....	1
2 選定委員会の開催経過.....	1
第2章 審査の方法.....	2
1 審査の流れ.....	2
2 審査の内容.....	3
第3章 審査の結果.....	5
1 参加資格審査.....	5
2 提案審査.....	6
第4章 総評.....	9

第1章 選定委員会の構成及び開催経過

1 選定委員会の構成

区分	氏名	所属等
委員長	藤吉 秀昭	一般財団法人 日本環境衛生センター 常勤顧問
委員	井上 隆夫	一般社団法人 静岡県環境資源協会 事務局長
委員	守富 寛	守富環境工学総合研究所 所長
委員	赤堀 純久	掛川市 協働環境部長 (令和7年3月31日まで) 掛川市 くらし環境部長 (令和7年4月1日から)
委員	鈴木 和則 (令和7年3月31日まで)	菊川市 生活環境部長
	浅羽 淳 (令和7年4月1日から)	菊川市 生活環境部長

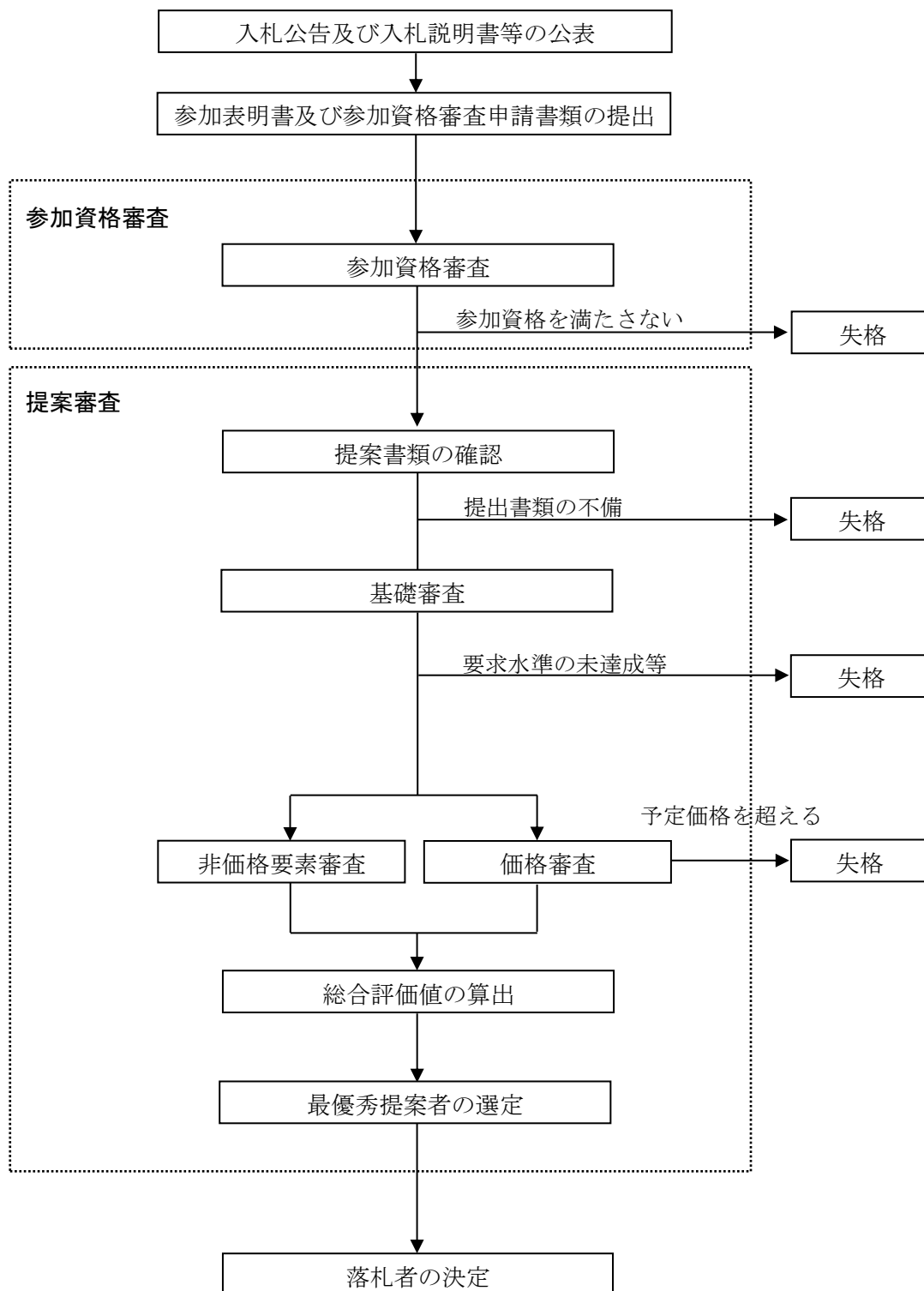
2 選定委員会の開催経過

日程	会議名	主な議題等
令和6年12月2日(月)	第1回選定委員会	委員の委嘱、今までの経緯、委員会スケジュール、 実施方針(案)、工事概要、要求水準書(案)など
令和7年2月28日(金)	第2回選定委員会	入札公告資料(入札説明書、要求水準書、様式集、 落札者決定基準、契約書(案))、審査方法 など
令和7年4月25日(金)	第3回選定委員会	入札公告資料(第2回の修正) など
令和7年11月19日(水)	第4回選定委員会	基礎審査結果報告、意見交換(提案内容調書(提案審査 補助資料)を用いた協議)、仮審査 など
令和7年12月17日(水)	第5回選定委員会	事業者プレゼン、ヒアリング、意見交換、提案内容 及び入札価格の審査、審査講評の骨子 など

第2章 審査の方法

1 審査の流れ

落札者決定までの審査の流れは、次のフローに示すとおりである。



2 審査の内容

1) 参加資格審査

掛川市・菊川市衛生施設組合（以下、「組合」という。）は、応募者から提出される参加資格審査に関する書類をもとに、応募者が満たすべき参加資格要件について審査する。参加資格要件を満たさない場合は、失格とする。

2) 提案審査

(1) 提案書類の確認

組合は、応募者に求めた提案書類が全て揃っていることを確認する。提出書類に不備がある場合は、失格とする。

(2) 基礎審査

組合は、提案書類に記載された内容が、基礎審査項目を満たしていることを確認する。提案内容が基礎審査項目について1項目でも満たさない場合は、失格とする。

基礎審査項目は、以下のとおりである。

審査対象	基礎審査項目	対応様式
共通事項	・提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案または提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。 ・提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。	すべての様式
工事に関すること	・各様式に対して記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。	すべての様式
設計図書	・記載された提案の内容が、要求水準を満たしていること。	—

(3) 非価格要素審査

選定委員会は、応募者から提出された提案書類の各様式に記載された内容について審査を行い、審査項目ごとに得点化する。得点の計算については、次に示す3段階評価に基づき選定委員会の各委員が個別に評価を行い、その平均値を得点として付与する。得点は小数点第三位以下を四捨五入した値とする。

【審査項目の判断基準】

評価	判断基準	得点化方法
A	要求水準を十分に上回る、もしくは、高い効果が期待できる	各項目の配点×1.00
B	AとCの中間程度	各項目の配点×0.50
C	要求水準と同程度、もしくは、効果が期待できない	各項目の配点×0.00

ただし、次の審査項目については、提案数値に基づき、各々の算定式により得点を付与する。

① 同種施設実績件数

エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設（併設合棟）の設計・建設竣工実績（H22年度～R6年度15年間）に件数の提案に基づき、次のとおり得点化する。

件数	得点
3件以上	2点
2件	1点
1件以下	0点

② 売電量

焼却施設の売電量を以下の算定式により得点化する。得点は小数点第三位以下を切り捨てた値とする。

【定量評価算定式】（1年間の発電量）

$$4点 - 4点 \times \{ (\text{最高提案売電量} - \text{当該者の提案売電量}) \div (\text{最高提案売電量}) \}$$

(4) 価格審査

組合は、入札書に記載された提案価格が提案限度額を超えていないことを確認する。提案価格が予定価格を超える場合は、失格とする。予定価格以下の場合、選定委員会は、応募者から提出された入札書に記載された提案価格について、予め定めた以下の計算式に基づき、得点を付与した結果を確認する。なお、定量化限度額は、予定価格の75%として設定する。

① 最低提案価格 ≤ 定量化限度額の場合 価格審査点 = (定量化限度額 / 当該提案価格) × 配点 (50点) ※提案価格が定量化限度額を下回った場合には、上記の式によらず50点とする。
② 最低提案価格 > 定量化限度額の場合 価格審査点 = (最低提案価格 / 当該提案価格) × 配点 (50点)

※価格審査点（小数点以下）は、小数第三位を四捨五入した値とする。

(5) 総合評価及び最優秀提案者の選定

選定委員会は、非価格要素審査の得点及び価格審査の得点の合計（総合評価値）が最も高い提案者を最優秀提案者として選定する。なお、総合評価値の最も高い者が複数あるときは、複数の最優秀提案者を選定する。

第3章 審査の結果

1 参加資格審査

組合は、令和7年6月27日までに3グループから提出された参加表明書及び参加資格審査申請書類等をもとに、応募者が満たすべき参加資格要件及び業務遂行能力について確認し、令和7年7月4日付で参加資格審査結果（参加資格があるものと認めたもの）を3グループの代表企業に通知した。

なお、参加資格審査結果の通知時に、各グループの受付番号をそれぞれ「あお」、「あか」、「みどり」とすることを応募者に示し、選定委員会では構成企業名を伏せて審査を行った。

<参加グループの構成企業一覧>

受付番号	参加区分	企業名	役割
あお	代表企業	株式会社タクマ 中部支店	・プラントの設計・建設 ・建築物の設計
	構成員	東洋建設株式会社 名古屋支店	・建築物等の建設
	構成員	株式会社川島組	・建築物等の建設（地元企業）
	構成員	株式会社藤本組	・建築物等の建設（地元企業）
あか	代表企業	カナデビア株式会社 中部支社	・プラントの設計・建設 ・建築物の設計
	構成員	株式会社奥村組 名古屋支店	・建築物等の建設
	構成員	戸塚建設株式会社	・建築物等の建設（地元企業）
	構成員	株式会社小原組	・建築物等の建設（地元企業）
みどり	代表企業	三菱重工環境・化学エンジニアリング株式会社	・プラントの設計・建設 ・建築物の設計
	構成員	飛島建設株式会社 静岡営業所	・建築物等の建設
	構成員	株式会社若杉組	・建築物等の建設（地元企業）
	構成員	株式会社落合組	・建築物等の建設（地元企業）

2 提案審査

1) 提案書類の確認

組合は、令和7年9月26日までに3グループの提案書類の受付を行い、応募者に求めた提案書類が全て揃っていることを確認した。

2) 基礎審査

組合は、応募者から提出された提案書類が、3グループ共に全ての基礎審査項目を満たしていることを確認した。

3) 非価格要素審査・価格審査

(1) 非価格要素審査

非価格要素審査を行う上で、応募者の提出した提案書の記載内容を明確にするために、応募者に対して提案内容についてのヒアリング（プレゼンテーション及び質疑応答）を令和7年12月17日に実施した。

その後、選定委員会にて十分な議論を行ったうえで、落札者決定基準に基づき各委員が3段階評価を行い、その平均値を得点として付与した。

同種施設実績件数、発電量については、落札者決定基準に記載の算定式により得点を付与した。

非価格要素審査における評価項目・配点及び非価格要素審査結果は次頁のとおりである。

□非価格要素審査項目・配点及び非価格要素審査結果

審査項目（大項目）		配点 （点）	評価結果		
			あお	あか	みどり
非価格要素審査		50	37.30 点	37.09 点	35.67 点
安全、安心、安定的な稼働が期待できる施設		小計 (25)	18.50 点	18.90 点	18.10 点
安定運転	建設	4	2.80 点	2.80 点	3.20 点
同種施設実績件数	建設	2	2.00 点	2.00 点	2.00 点
緊急トラブルへの対応	建設	8	6.40 点	6.40 点	5.60 点
	運転計画	2	1.20 点	1.40 点	1.00 点
災害に強い施設	建設	4	2.40 点	2.80 点	2.80 点
	運転計画	2	1.40 点	1.40 点	1.40 点
災害への対応	建設(焼)	1	0.80 点	0.80 点	0.60 点
	建設(リ)	1	0.80 点	0.80 点	0.80 点
	運転計画	1	0.70 点	0.50 点	0.70 点
脱炭素社会を見据え、環境負荷の少ない施設		小計 (5)	4.70 点	4.09 点	4.37 点
有効な発電計画	建設	4	4.00 点	3.39 点	3.77 点
資源化の促進	建設	1	0.70 点	0.70 点	0.60 点
経済性が高く、運転管理が効率的かつ容易な施設		小計 (20)	14.10 点	14.10 点	13.20 点
施設整備工事の実施	建設	2	1.60 点	1.00 点	1.40 点
延命化工事への配慮	建設	2	1.20 点	1.40 点	1.20 点
人員配置とメンテナンス計画、基幹改良工事	建設 (共通)	2	1.40 点	1.20 点	1.40 点
	建設(焼)	1	0.70 点	0.60 点	0.60 点
	建設(リ)	1	0.60 点	0.70 点	0.60 点
施設配置、内部配置、見学者対応	建設	2	1.40 点	1.60 点	1.40 点
搬入搬出計画	建設	2	1.80 点	1.20 点	1.40 点
ライフサイクルコストの低減	建設	2	1.00 点	2.00 点	1.20 点
地域貢献	建設	2	1.60 点	1.40 点	1.20 点
アフターフォロー	運転計画	2	1.60 点	1.40 点	1.20 点
ごみの受入、不適物等の対応	建設	2	1.20 点	1.60 点	1.60 点

※上記のうち(焼)は焼却施設、(リ)はマテリアルリサイクル推進施設、(共通)は左記施設共通のものを意味する。

(2) 価格審査

組合は、入札参加者立会いのもと入札書を開札し、入札価格が予定価格の範囲内であることを確認した上で、落札者決定基準に示す算出方法に基づき価格審査の得点を下記のとおり算出した。

□価格審査結果

項目	あお	あか	みどり
価格審査の得点 (50 点)	50.00 点	43.96 点	50.00 点
入札金額 (税抜)	20,197,500,000 円	22,974,000,000 円	20,197,500,000 円
予定価格 (税抜)	26,930,000,000 円		
定量化限度額 (税抜)	20,197,500,000 円		

4) 総合評価値の算出及び最優秀提案者の選定

非価格要素審査の得点に価格審査の得点を加算し、総合評価値とした。

$$\text{総合評価値} = \text{非価格要素審査の得点} + \text{価格審査の得点}$$

項目	あお	あか	みどり
非価格要素審査の得点 (50 点)	37.30 点	37.09 点	35.67 点
価格審査の得点 (50 点)	50.00 点	43.96 点	50.00 点
総合評価値 (100 点)	87.30 点	81.05 点	85.67 点
最優秀提案者	○		

以上により、「受付番号：あお」を最優秀提案者とした。

第4章 総評

本事業は、老朽化が進行している既存の焼却施設・リサイクル施設に代わる新施設（新焼却施設及び新マテリアルリサイクル推進施設）を整備することを目的としており、施設整備の基本方針として以下の3つを掲げている。

- ①安全、安心、安定的な稼働が期待できる施設
- ②脱炭素社会を見据え、環境負荷の少ない施設
- ③経済性が高く、運転管理が効率的かつ容易な施設

事業者の選定方法は、専門的な技術やノウハウが求められる本事業の特性を踏まえ、価格のみによる評価ではなく、事業者からの提案及び入札価格を総合的に評価して落札候補者を選定する総合評価一般競争入札とした。

本事業への応募者は3グループであったが、各グループの提案は、いずれもこれまでの実績をもとにした独自のノウハウや技術が盛り込まれており、組合の要求水準を上回り、期待ができる提案内容が示されていた。各グループの提案書類の作成における努力に対して敬意を表するとともに、深く感謝申し上げたい。

選定委員会では、施設整備基本方針に基づき評価基準・評価方法などを定めた落札者決定基準に則り、各審査項目について厳正かつ公正に審査を行った。

審査の結果、(株)タクマ中部支店を代表企業とする参加グループ（以下、「タクマグループ」という。）を最優秀提案者として選定した。

タクマグループの提案は、施設整備の基本方針に則した内容と評価したものであり、特に早期のごみ受入を実現し、組合の廃棄物の外部委託費用を低減する提案、国内トップクラスの高い蒸気条件により発電量・売電量の最大化を図った提案等について高く評価した。

今後、タクマグループは、組合と契約を締結するための協議を行うこととなるが、組合の要求事項のみならず、提案された内容を確実に履行することが求められる。そのうえで、本事業をさらに充実したものとし、安全で安定的な施設の稼働ができるように、タクマグループに対しては次の事項に留意して事業を実施されることを望みたい。

- 本事業の設計・施工にあたっては、長期の安定稼働を担保する施設として、組合と十分に協議し、業務提案書等の確実な履行を図ること。
- 業務提案書に記載しているとおり、効率的な工法と工程管理により、ごみの早期受け入れを確実に実現すること。
- 提案された発電計画を確実に履行し、発電量・売電量の最大化が図れる施設として整備すること。
- 施設整備後の維持管理について、運営事業者がどこであっても、業務提案書に記載しているとおり安定運転に資する充実した教育訓練、トラブル対応、メンテナンスサポート等を実施すること。
- リチウムイオン電池対策等、実績に基づく火災対策の徹底により、運営期間に渡り大規模火災

が発生しない施設とすること。

- リサイクル施設のX線検出器によるリチウムイオン電池等の検出に当たってはその前処理での労働負荷を軽減する対応を考慮すること。
- 施設の整備・運営期間全体を通して誠意をもって事業に取り組み、組合や地域との信頼関係を築くこと。

上記の配慮・要望事項について、契約の公平性を妨げない範囲において本事業をより良いものとするために組合と十分な協議を行い、真摯な対応に努め、組合の安定したごみ処理事業の継続に寄与することを期待する。